

園芸高校に生息する生物を題材にした環境教育の実施

大阪府立園芸高等学校 環境緑化科 3年 元井貫太・武部大夢・衣笠隼馬・関口大輝

はじめに

この世界では動物、植物を含め多くの生物が減少しつつあります。魚が減少すればヒトは魚を食べることができない。昆虫が植物の受粉を助けなければヒトは植物を食べることができないなど生物の減少は人間に大きな影響を与えます。「**生き物、自然の好き嫌いに関わらず、生物のいない世界になってはいけない**」と思いこの研究を始めました。私たちの研究の目的は、皆さんに自然の大切さや虫の大切さや凄さを知ってもらい少しでもみなさんに興味をもっていただくことです。SDGsがかかげる17の目標のうち「**質の高い目標をみんなに**」、「**陸の豊かさを守ろう**」、「**パートナーシップで目標を達成しよう**」をピックアップして研究目標にしました。



蝶の観察会

園芸高校の実習庭園の中を散策する蝶の観察会を実施しました。参加してくれた小学生たちはむし網を持ち夢中で蝶を捕まえていた様子が印象的です。

観察会後のアンケートでは「今日の活動は楽しかった」「チョウと植物を観察できてよかったと思う」「もっとチョウと植物について詳しく知りたいと思う」の項目で高い評価を得ることができました。この評価から参加者が生き物に興味を持ってくれたということがわかりました。

自由記入欄では「**虫を見るのが楽しかった**」「**カエルが触れてよかった**」など観察会が充実していたことを示す感想や「**楽しかったけど、アゲハチョウを捕まえられなかったから残念**」「**もっと採りたかった**」など自然・生き物に興味を示している感想をいただきました。

アンケート評価、自由記入欄より観察会の実施は**小学生にとって自然や生き物の勉強をするうえで大きな効果がある**ことがわかりました。



蝶を捕獲し同定している様子



作成した蝶の見分け方ブック



作成した蝶の標本

カブトムシの幼虫の配布と飼育方法動画の配信

カブトムシ飼育動画は園芸高校HP環境緑化科ブログに掲載しました。動画の見方は、園芸高校のHPを開きます。次に環境緑化科ブログをクリック。記事「カブトムシの幼虫飼育動画」から見るができます。

カブトムシの幼虫の配布と飼育方法動画の配信を行った成果はインターネットを使って小学生に**幼虫の正しい飼育方法を伝える**ことができた。小学生に幼虫を渡すことで**教材を提供**することができた。いつでも・だれでも、見ることのできる活動動画記録を残すことができたことが挙げられます。



ブログのページ

本研究のまとめ

チョウの観察会やカブトムシの幼虫飼育動画の配信を行って体を使って学ぶことにより質の高い教育を行うことができました。チョウやカブトムシなどの**生き物の大切さを小学生に伝えることで、命を大切にするという行動につながる活動を行うことができました。**

このことからSDGs目標の「**質の高い教育をみんなに**」「**陸の豊かさを守ろう**」「**パートナーシップで目標を達成しよう**」の3つを達成することができました。